

## 令和2年度「不登校の状況」のまとめ

\* 「不登校」・・・「不登校」を理由として30日以上欠席

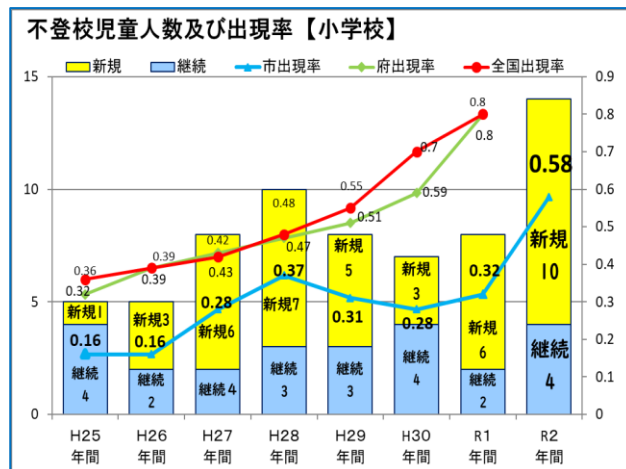
## 1 小学校の状況について

## ア 不登校 14名

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
人数		1人		2人	6人	5人

イ 新規不登校10名の内訳  
経過観察：1名  
新規報告：9名

ウ 別室登校：全報告中14名  
別室登校100日以上：4名



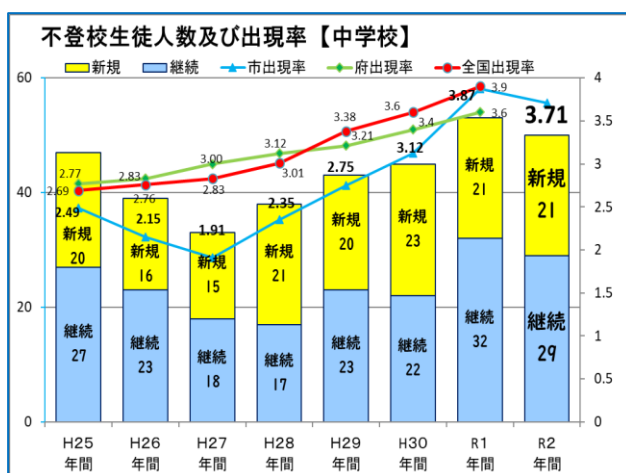
## 2 中学校の状況について

## ア 不登校 50名

	1年	2年	3年
人数	9人	16人	25人

イ 新規不登校21名の内訳  
経過観察生徒：8名  
新規報告生徒：13名

ウ 別室登校：全報告中46名（全6中学校）  
別室登校100日以上：7名



## 3 教育支援センター「麦わら」について

- (1) 申請 4月9名（小学生1名・中学生7名・卒業生1名）  
3月21名（小学生7名・中学生13名・卒業生1名）
- (2) 学年・男女別人数(令和3年3月末現在)

	小4	小5	小6	中1	中2	中3	卒業生
人数	3人	1人	3人	3人	4人	6人	1人

- (3) 不登校ではないが、心の安定を図る未然防止としての通所、保護者のみの相談等活用が多様化している。
- (4) アウトリーチ型支援の増加  
訪問支援4件・中学校教育相談部会への定期的な参加

## 4 今後の課題について

- (1) 不登校に至る要因や背景は年々多様化しているとともに、前学年までの累積欠席日数によらず新規不登校に至る可能性がある。そのため、早期に専門家や関係機関と連携を図り、適切な対応ができるよう支援体制の構築を図る。
- (2) 学校は、児童生徒の社会的自立にかかわる教育活動を位置づけ、全ての児童生徒にとって魅力ある学校づくりを目指して、教育活動及び指導方法の工夫改善を図る。